

# S.COAT No.2015 ECO FTⅢクリアー

(PRTR 特化則対応 超高外観タイプ 3:1)



## 1. 製品の特徴

(4類第2石油類 荷姿 16L 2013年上市)

- 1) 樹脂成分を増量したハイソリッド設計で、夏場および広い面積の塗装に最適なクリアー。
- 2) 光沢と肌が良好で磨き作業性も優れ、高級車の塗装に最適。
- 3) 加熱残分45% VOC削減率44% (TXクリアー比)
- 4) 実車塗装実績 180万台。促進耐候性試験合格。

## 2. クリアー、硬化剤、シンナーの配合量と希釈塗料の可使用時間

混合比率 (重量比率)			希釈塗料の可使用時間 (時間)		
クリアー	硬化剤	シンナー*	10℃	20℃	30℃
100	33	15～30	4	2	1

(注意) 30℃以上の気温では可使用時間が1時間未満になります。

## 3. 乾燥時間

	乾燥温度 (℃)			
	10℃	20℃	30℃	60℃
指 触 乾 燥	15分	7分	5分	—
強制乾燥前セッティング	0～5分	0～5分	3～5分	—
コンパウンド研ぎ可能	36時間	16時間	8時間	30分
屋 外 放 置 可 能	5日	48時間	24時間	60分
ガ ソ リ ン O K	7日	5日	72時間	60分後1日
再 塗 装 可 能 時 間	—	—	—	<b>60分</b>
完 全 硬 化	—	—	7日	120分

\*膜厚、塗装面積、諸条件により乾燥時間は若干変わります。(標準膜厚30～50μ)

## 4. 硬化剤の気温による選択基準 (FTⅢクリアー単独で1年間通じて使用する場合)

硬化剤名	塗装温度 (℃)			
	5	15	25	35
速 乾	○	○	△	△
標 準	△	○	○	△
遅 乾	△	○	○	○
超 遅 乾	△	○	○	○

\*冬場は超速乾や速乾シンナー、春秋は標準シンナー、夏場は遅乾や超遅乾シンナーを使用してください。塗装回数は2～2.5回。ボカシ塗装は残りのクリアーに1回目シンナーを30～50%、2回目さらにシンナーを50%添加し2段ボカシで行う。

\*塗装の動画をYouTubeで公開しています。

## 5. 冬場は作業性を夏場は仕上がり性を希望される場合 (FSⅢクリアーとの併用)

製品名	適正温度範囲 (℃)			備 考
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
冬 FSⅢ	5～15	10～15	—	5℃以下では硬化促進剤の利用も検討下さい。
春・秋 FSⅢ / FTⅢ	—	15～25	—	FSⅢ / FTⅢの併用あるいは混合で使用下さい。
夏 FTⅢ	—	20～30	25～40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

\*FSⅢとFTⅢクリアーの併用あるいはブレンド(混合)で季節に合わせた使用方法を行ってください。